

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■平成 29 年度 朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

台風の影響で開催が危ぶまれた今年度の合同保全作業でしたが、なんとか天気も持ち直し、平成 29 年 9 月 2 日（土）、9 月 3 日（日）に、朝日連峰狐穴小屋付近において実施しました。当会の合同保全作業は 10 回目（平成 20 年実証試験を含む）を迎え、狐穴小屋付近においては初めての合同保全作業となりました。

【作業地概況】

朝日連峰狐穴小屋から徒歩 30 分位の風衝地で、風衝裸地、登山道の複線化、ガリ一浸食等によって荒廃が進んでいる場所です。表土層がもろくなっており、流水の集中による洗掘や、踏圧による登山道の荒廃が進んでいることから、来年度以降の保全作業で必要となる土砂を溜めることを意図して、保全作業を行いました。



【出発前の挨拶 澁谷啓代表】



【出発前、荷上げ資材を各自準備しているところ】

【実施スケジュール】

●9月2日（土）

- 7:00 日暮沢小屋集合、挨拶・班編制
- 7:15 登山開始
- 16:00 狐穴小屋着

●9月3日（日）

- 6:00 狐穴小屋発
- 6:45 作業開始
- 8:45 ふりかえり
- 10:00 下山開始
- 16:30 日暮沢小屋着、解散



【集まった緑化ネット・ヤシ製土嚢・ヤシ繊維】

■作業報告

9月2日、日暮沢小屋に集合し、清太岩山経由でヤシ土嚢やヤシ繊維等の資材の荷上げを行いました。当初混雑緩和のため竜門小屋と狐穴小屋の2カ所に分かれて宿泊する予定でしたが、当日狐穴小屋の宿泊客が保全作業員以外は誰も居ないということで、西川山岳会様のお取りはからいでほぼ全員が狐穴小屋に宿泊、荷上げ資材も1日目のうちに狐穴小屋まで運搬することができました。

9月3日の作業の概要としては以下のとおりです。

○各班班長は現地に早く入り、現地打ち合わせと工法確認を行いました。

○狐穴小屋から30分くらいの場所まで全員でヤシ土嚢、ヤシ繊維、黄麻製緑化ネットを運搬しました。

○今回の作業場所では土を溜めることを優先的に考えるという共通見解のもと、砂防ダムをメインに作業を行いました。

○荒廃が進み裸地化した場所に、黄麻製緑化ネットを設置しました。

○歩行路の確保とダム機能を兼ねて、ヤシ土嚢にヤシ繊維、現地の転石を用いてステップを設置しました。



【ダムを造っているところ】

■作業風景



【15mのヤシ製緑化ネットを皆で巻いている】



【ふりかえりの様子】



【集合写真】

今回の作業には14団体、30名の方々の参加がありました。今回の作業では、西川山岳会の皆様に多岐に渡り事前準備にご尽力いただき、当日は澁谷代表の代理で西川山岳会事務局長の佐藤辰彦氏（都合により澁谷代表は9/2朝のみ出席）には、当日の統括リーダーとして全体の指揮監督に際しまして子細に渡りご協力いただきました。また、狐穴小屋、竜門小屋の管理人様には宿泊に際し臨機応変にご対応いただき、大変お世話になりました。福島県、新潟県等遠方からの参加者もあり、また事前作業の荷上げで多くの方にご協力いただきました。ご参加いただいた皆さんの手際の良さも加わり、おかげさまで短時間で無事予定していた作業をおえることができました。参加者皆様におかれましては、初日の荷上げも含め2日間の現地作業、大変お疲れ様でした。

【参考ホームページ】

- ・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
(朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等)
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
- ・東北地区アクティブレジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

尚、今回使用した資材は林野庁東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター及び環境省東北地方環境事務所より提供がありました。作業に関わっていただいた山岳関係者の皆様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

【発行者】

朝日連峰保全協議会（事務局）羽黒自然保護官事務所^{しももと}（下本、澁谷^{しぶや}）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777・080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp